立命館大学における地域連携の取組について



立命館大学　びわこ・くさつキャンパス

立命館大学の地域連携方針

滋賀県草津市に位置する立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）は、2024年に開設30年を迎えます。経済産業省「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」の採択を受け、人や情報、資金を集積・循環させ、多様なステークホルダーによる、地域に開かれたオープンイノベーション拠点「グラスルーツ・イノベーションセンター」設置に向け、準備しています。

地域での新たな産業の創出へつながる、地域を支えるオープンイノベーションハブとなることを目指します。いっそう教育研究の充実・高度化と地域貢献の取組みを進め、社会共生価値の創出に取り組んでまいります。

PICK UP

大学の研究者



■ 主な研究内容

ロボティクス、制御、
知能機械学、機械システム、
機構設計

理工学部ロボティクス学科
加古川　篤　准教授

※研究者の経歴等は
（URL：https://research-db.ritsumei.ac.jp/rithp/k03/resid/S000850）
をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（ロボティクス）

地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

水道・下水道、防災・減災、都市整備

■ 活用例

これまで細くて点検ができなかった
下水道圧送管点検のための
カメラ付自走式ヘビ型ロボットによる
下水道インフラDX

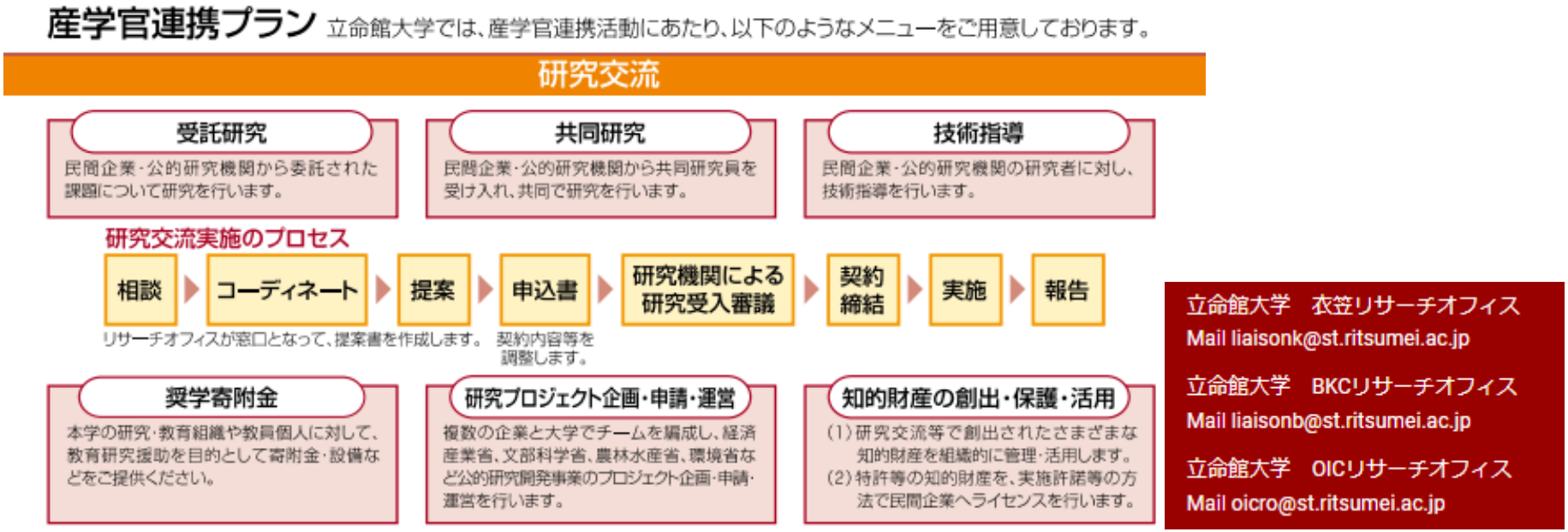
地域との連携形態について

地域との連携形態

立命館大学では研究部リサーチオフィスが学外機関との交流を通じ、人類の福祉と社会の進歩に貢献する学問・研究を推進する産学官交流の総合的窓口となっています。

連携の可能性についてのご相談や気になる研究についてのお尋ねは、リサーチオフィスまでご相談ください。研究者や産学官連携制度などをご紹介・コーディネートいたします。

立命館大学では
・主に人文社会科学系分野の研究を推進する衣笠リサーチオフィスとOICリサーチオフィス
・主に自然科学系分野の研究を推進するBKCリサーチオフィスを設置しています。



参考URL：https://www.ritsumei.ac.jp/research/collaboration/about/

地域との連携実績について

地域との連携実績

立命館大学では、これまでキャンパスが立地する周辺地域の地方公共団体との包括協定の締結や市民公開講座の実施などを中心に連携を行ってきました。特に、大学と地方公共団体（滋賀県・草津市）の公私協力によって開設されたびわこ・くさつキャンパス（BKC）では、様々な分野で地元産業界も巻き込んで滋賀県、草津市との連携を進めています。

大学の教育、研究につづく第三のミッションは社会貢献です。教育、研究が社会に貢献できるよう、今後も活動、コーディネートの幅を拡げ、地元の自治体等との様々な取り組みを進めています。

また各キャンパスの拠点にこだわらない各学部におけるPBL、フィールドワークの一環として、また、研究所・研究センターの研究プロジェクト等々、全国の自治体、団体、民間企業等との連携を深め、地方創生を支え、世の中の諸課題に立ち向かう、社会に貢献できる大学づくりを進めてまいります。

・ 過去5年の連携実績

年度	主な連携事例
2025年	・産業振興（スタートアップ創出分野等）に関する連携協力の覚書締結（草津市）
2024年	・「健幸創造都市　草津」の実現に向けた運動介入およびその効果測定（草津市）　ほか
2023年	・下水管点検ロボットの社会実装プロジェクト（草津市）　ほか
2022年	・豪雪地帯の安心安全を実現する除雪作業支援IoTシステム「5G統合実証実験」（長野県白馬村） ・イスズミの資源化およびコスト評価（長崎県五島市）　ほか
2021年	・滋賀県トップアスリート医科学支援　ほか

連絡先
立命館大学研究部BKCリサーチオフィス
TEL：　077-561-2802
Mail：　liaisonb@st.ritsumei.ac.jp